



実践クラブ
まわたり みつはる
馬渡 光春 議員

防災避難訓練

- Q** ①有明地区における防災避難訓練の評価や検証は？
（それぞれの参加数は？）
- ②実施の問題と検証は？**
（避難後の行動に問題が？）
- ③自主防災組織への期待と支援対策は？**
（地域の消防団との連携が大事では？）
- ④市の防災・減災体制の強化は？**
（各地で想定外の災害発生、より体制の強化が必要では？）
- A** ①小中学生が745人、住民1583人、消防団134人が参加。避難者カードを活用し、地域一体で実践的な訓練ができたと思う。
- ②避難場所が遠く、高齢者の避難対策等が必要。今回は身の安全確保を主眼に置いた。**
- ③防災組織独自の避難や救急救命訓練を期待。防災リーダー研修会、地域防災マップの作成を支援する。**
- ④情報集約システムを構築し、状況**

や情報を的確、迅速に提供する体制を整え、消防団と連携し、災害に強いまちづくりを目指す。

環境問題（ごみ対策）

- Q** 年々増加するごみ処理対策経費と今後の課題について。
- ①収集、処理にかかる費用、一人当たりの現状は？**
- ②資源ごみの状況は？**
- ③減量化対策の現状は？**
- ④不法投棄の現状は？**
- ⑤収集方法の一体化は？**
- ⑥可燃ごみ収集業務の民間委託の今後の計画は？**
- A** ①可燃ごみの収集量は年間1万6791トン、経費が7億6834万2千円、1キロ当たり45・8円。ごみ処理対策経費に一人当たり年間約2万円の経費が必要な状況。
- ②回収量2093トン。**
- ③ごみ収集量や処理対策費を公表して、市民全体で減量化を推進する。**
- ④年10万件が発生している。**
- ⑤ごみステーションが1220カ所**で全体の約85%。ステーション化を推進する。
- ⑥有明地区の委託で大きな効果があった。新年度以降も2地区ずつ委託を拡大していく。**



バラの会
くすのき しんすけ
楠 晋典 議員

公共施設等総合管理計画

- Q** 床面積の削減にとられすぎるところがないか？例えば、母子寮や児童館について、その事業に沿った変更がなされるのか。
- A** どちらの施設も老朽化で施設自体は解体の予定だが、事業内容については引き継ぎ、施設についても検討していく。
- Q** 島原文化会館の存続を希望する会の方々を中心として、市内外から3万9060人分の署名が寄せられ市長へ提出された。市内に限定せず広く文化を受け入れてきた文化会館だからこそ、このように多くの署名が寄せられたと思う。どう受け止めているか。
- A** 時間をかけて集められたことに敬意を表すると同時に、文化会館のみならず、本市における公共施設の問題を周知できた良い機会になったことに感謝したい。

新庁舎建設

- Q** 本体工事の遅れが電気工事や空調工事の工期を圧迫した。電気工事調工事とも市内の業者が大きいため関わっており、請負契約であるために仕事量や残業代などの経済的負担が市内業者に大きくなったと思うが、どのように考えるか。
- A** 入札時にもいろんな議論をし、いろんな方々にご支援いただいた。結果的に3か月遅れで完成となったが、ある意味、皆さん方の御支援のおかげだと思う。
- Q** 新庁舎への引越しの時期が見えてくると思うが、年度の切り替え時期に当たるならば、いつそのことと人事異動の時期も合わせてはどうか。人事異動も少なめにして、ただでさえ多忙な新年度時期にレベルダウンは避けるべきではないか。
- A** 市政を推進するうえで大事なことは、適材適所でやらなければならない。市が一丸となって乗り越えていけるよう努力したい。
- 【その他の質問項目】
- ◇特定健診について
- ◇自主防災会について